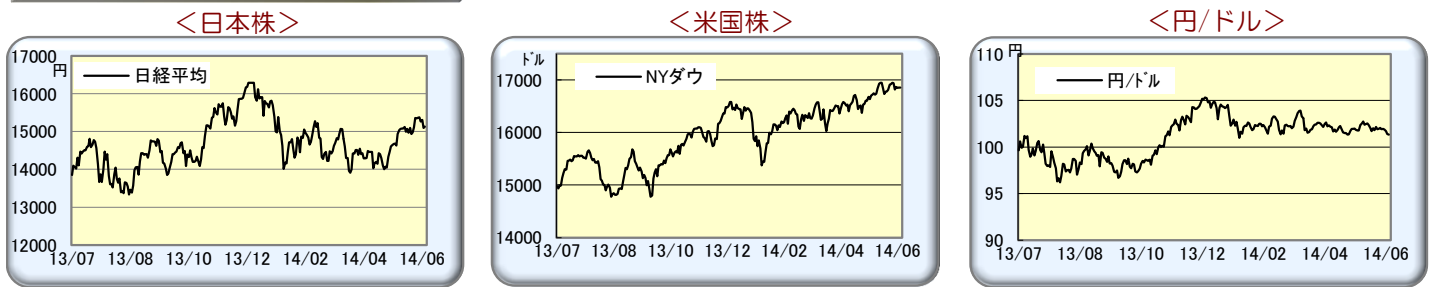


1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2013/12/31	2014/5/30	2014/6/27	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	16,291.31	14,632.38	15,095.00	16,320.22	2013/12/30	8,135.79	2011/11/25
NYダウ	ドル	16,576.66	16,717.17	16,851.84	16,978.02	2014/6/20	10,404.49	2011/10/4
円/ドル	円	105.31	101.77	101.42	105.44	2014/1/2	75.35	2011/10/31

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

テクニカル面で短期的な過熱感が高まったことなどをを受けて6週振りの反落

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲254.42円 (▲1.66%)、TOPIXが▲15.77ポイント (▲1.24%)とテクニカル面で短期的な過熱感が高まったことなどをを受けて6週振りに反落しました。業種別(東証33業種)にみると、空運業、非鉄金属、電気・ガス業など4業種が上昇する一方、ゴム製品、鉱業、証券・商品先物取引業など29業種が下落しました。週明け23日の日本株市場は、先々週末にかけて米国株市場が堅調に推移したことや円安ドル高が進んだことなどをを受けて、上昇して始まりました。しかし引けにかけては、東証一部の騰落レシオ(25日)が150%台を超えるなど短期的に過熱感が高まっていることへの警戒感から、上値の重い展開となりました。その後26日にかけては、政府が日本株の投資環境改善も意図した①コーポレートガバナンスの強化、②公的・準公的資金の運用等見直し、③法人税改革等を含む成長戦略を発表したことなどを背景に、底堅く推移しました。しかし週末27日は、①前日の米国株市場が下落したこと、②101円前半まで急速に円高ドル安が進んだこと、③騰落レシオ(25日)が依然150%前後の高水準で推移していたことなどから売り先行の展開となり、日経平均は一時15,000円近くまで下落する場面がみられました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回	
6月30日	Mon	日本	鉱工業生産(前月比)	5月	-0.028
		米国	シカゴ購買部協会景気指数	6月	65.5
7月1日	Tue	日本	日銀短観 大企業製造業	4-6月期	17
		米国	ISM製造業景況指数	6月	55.4
		中国	製造業PMI	6月	50.8
7月2日	Wed	米国	ADP雇用統計	6月	179千人
			製造業受注指数	5月	0.007
7月3日	Thu	米国	非農業部門雇用者数変化	6月	217千人
			失業率	6月	0.063
			ISM非製造業景況指数(総合)	6月	56.3
			貿易収支	5月	-472億ドル
7月4日	Fri	欧州	ECB(欧州中央銀行)定例政策委員会		
		米国	独立記念日(祝日)		

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 15,000円前後で揉み合いの展開を予想 ~

今週の日本株市場は、日米中の重要な経済指標やドル円を中心とした為替動向を睨みながら、15,000円前後での小動きを想定しています。投資主体では、海外投資家と信託銀行に注目していますが、前者は買い越しが継続すると考えているものの、後者は15,000円台では買い越しが細るのではないかとみています。経済指標では、米国で1日に発表されるISM製造業景況指数、2日のADP雇用統計、3日の雇用統計、ISM非製造業景況指数、貿易収支、中国では1日の製造業PMI、日本では30日の鉱工業生産、1日の日銀短観が重要と考えています。会議日程では、3日に開催されるECB(欧州中央銀行)定例政策委員会に注目しています。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社とします)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。